

私のお店、始めます

祖父母がかつて経営していた^{しにせ}老舗パン屋を、
新しく開店させた女性のおはなし



エルハイナー永田のパンは、ベーシックなものから惣菜パンまで、たくさんの種類が毎朝6時半のオープンにはそろっている。

倉吉市では、平成22年に「倉吉市地域産業振興ビジョン」を策定し、地域経済の活性化と雇用の創出を促進してきました。ビジョンを進めるためには、商店街を中心としたにぎわいの創出・空き店舗の活用・新規開業を促すだけでなく、経営指導や相談体制などのサポート体制も整える必要があります。

新規開業の一例として、実家である老舗パン屋の再開のため倉吉へUターンした女性の、開業までの道のりをご紹介します。

エルハイナー永田は私の家

「エルハイナー永田は永田さんにとってどんなものですか」

「エルハイナー永田は、もともと昭和22年くらいに祖父と祖母とが立ち上げたと聞いています。60年以上続いてきた店も、やがて祖母が体調を崩し、社長不在になることと、機械の老朽化もあって、しぶしぶ閉店することになりました。祖母にはそれでも続けていきたい思いはあったと思います。」

再開への思い・悩み

エルハイナー永田は、私にとって特別な存在ではなく、生まれたときから普通にそこにあるもので、生まれ育った家です。幼い頃から、家族みんなが朝早く起きて仕事をしていたのを見てきたし、学校に行く前に手伝うこともありました」

「パンの仕事を始めようとしたきっかけは「短大を卒業後に県外に出て、自分にできることを考えたときに、パンの仕事を思いつき、パン屋でアルバイトを始めま

した。」

そこで、正社員でない仕事込みができませんでした。パンの知識も豊富に持っているわけがなく、勉強しようと思えば立ち、パン製造について学ぶために、学校に通うようになりました。

その後結婚し、家族の転勤で県外を転々しましたが、倉吉に平成25年に戻ってきました。パン屋をやるう、と思つてのふるさとへの帰省でした。いつも心のどこかには、エルハイナー永田をやらなければならな



永田 真季さん(上写真中央)
エルハイナー永田代表。友人とともにパン屋を開業。毎日3時に起床し、仕込みを行う。プライベートでは1児の母でもある。





エルハイナー永田

所 新町1丁目2421-1
電 22-2467
営 午前6時半～午後6時
休 日曜、月曜
P あり(2台)



い、もう一度オープンさせなければいけないという思いがありましたね。

母は、開業するにあたっての私の一番の相談相手で、オープンしたときも一番喜んでくれました。

それでも、家族への相談では解決できないこともたくさんありました。費用の面はもちろんですが、まず、どうやってお店をオープンするのか、というのがわかりませんでした。本で読んでいても、実際動くとなると、どうすればいいのか分からず、

最初は「開業したい」というざっくりとした相談だったにも関わらず、細かく聞き出してくださり、いろいろと調べてもらいました。その後、図書館であったビジネス情報相談会で、調べてもらった情報をもとに開業に向けた図書館の本を何冊か紹介してもらったりしました。

開店準備は、相談と並行しながらの作業でした。材料の仕入れについて調べたりしながら、開業のことも行う必要があり、思い返してみても、とても一人ではできなかったと思います。

自分の中で具体的な開店のイメージがまとまっておらず、迷うことも多かったところを引つ

よろず支援拠点との出会い

なかなか一歩が踏み出せませんでした」

—開店にむけて踏み出させたものは

「たまたま家に届いた閲覧板に鳥取県よろず支援拠点の『夜間ビジネス相談』のチラシを見つけました。相談員であるコーディネーターの顔写真が載っていて、安心感を持ってたことが、相談に行く決め手でした。

最初は「開業したい」というざっくりとした相談だったにも関わらず、細かく聞き出してくださり、いろいろと調べてもらいました。その後、図書館であったビジネス情報相談会で、調べてもらった情報をもとに開業に向けた図書館の本を何冊か紹介してもらったりしました。

interview



「開業したい」「売れる商品を作りたい」「廃業を考えている」など、さまざまな悩みごとを抱えた事業者が相談に来られます。さまざまな情報を収集し、専門分野に精通したコーディネーターが対応します。事業者の背中を押すことももちろんですが、時期を見極め、手綱を締めるなど適切な対応を行います。

事業のお悩みは、お気軽にお越しください。

鳥取県よろず支援拠点チーフ・コーディネーター
 西川孝一さん(中小企業診断士)

鳥取県よろず支援拠点とは

中小企業・小規模事業者が抱えるさまざまな経営の問題に対して、一歩踏み込んだ専門的な助言を行ったり、相談内容に応じた適切な支援が可能な機関につなぐワンストップ相談窓口です。資金繰りや商品開発など、さまざまな経営課題に対応する専門家を配置し、事業者の経営上の悩みに親身に耳を傾け、適切な解決策を提案し、成果が出るまでフォローアップしています。

さまざまな種類のパンが並ぶ店内。季節の素材が使われた期間限定商品もあり、選ぶのも楽しい。コーヒーなども販売しており、イートインコーナーでゆっくりと味わえる。



張っていつてもらえたことが本当にありがたかったです」

これからの店づくり

— 新しいエルハイナー永田でめざすものは

「店のオープンは平成28年1月。相談をし始めた平成27年の夏から約半年で開業することができました。

開業後の現在も、よろず支援拠点には経営のこと、雇用のことなどいろいろと相談しています。また、コーディネートがとぎどき店の様子を見に来てくださったりと、開業後のフォローも嬉しいですね。

この店の開業は、決して昔のエルハイナー永田の復活ではありません。リニューアルです。これまでのエルハイナー永田とはまた違う、私の色をだしたパン屋にしたいと思っています。これからは、子どもがパン作り体験をできるようなお店にできたらいいなと思っています。粉類を使うパン作りは、家庭では『キッチンを汚さないで』という思いが強くなってしまいがちですが、ここなら思う存分できますからね」

永田さんのように、新規に開業を希望する人の開業に向けた問題（資金調達の問題解決、新規開業に必要な知識、技術の習得についてなど）が解決されることや、事業者の経営の悩みが解消され、売り上げが向上することは、やがて地域のにぎわいや、さらなる雇用の創出へとつながります。

倉吉市では『倉吉市地域産業振興ビジョン』を策定し、「市民生活の向上と豊かで暮らしやすい地域社会の実現」を目指して、地域経済の活性化と雇用創出を進めています。まちのにぎわいの創出や、空き店舗活用、新規開業の促進のほか、よろず支援拠点との連携、経営指導の取り組み、経営相談体制などの充実を図っています。

事業の悩みを誰にも相談できず、自分だけで悩んでいませんか。「初歩的なことを聞くのは恥ずかしい」「人に話すことではない」と考えず、事業計画の磨き上げや、情報収集のためにも、遠慮せず相談することも大切です。そんなときは、気軽に相談できる公的機関などの窓口を利用してはいかがでしょうか。

相談・セミナー

夜間ビジネス相談窓口 ※事前申込不要

事業を始めたい、経営改善をしたい、新商品を開発したい、でも昼間は忙しい…

さまざまなビジネスに関する相談のために、地区公民館で相談窓口を開設します。

☎鳥取県よろず支援拠点中部サテライト(☎0858-36-2868)、
商工課(☎22-8129)

	日時	時間	会場
第1回	7月13日(水)	午後6時 ～ 8時半	上灘地区公民館
第2回	9月7日(水)		成徳地区公民館
第3回	11月2日(水)		上井地区公民館
第4回	平成29年1月11日(水)		上井地区公民館
第5回	平成29年3月1日(水)		成徳地区公民館

ビジネス情報相談会 ※要事前申込

業界の動向を把握したい、商品開発の参考になる情報を知りたい、取引先の企業情報を知りたい、などの悩みに情報収集の面から図書館がサポートします！

☎毎月第3水曜日 午後1時～3時／☎倉吉交流プラザ
【相談員】市立図書館司書、県立図書館司書、鳥取県よろず支援拠点相談員

☎鳥取県よろず支援拠点中部サテライト(☎0858-36-2868)、
商工課(☎22-8129)、市立図書館(☎47-1180)

小さくはじめてお金をかけない!!ゼロから始める創業セミナー

☎7月19日(火)午後6時～9時／☎倉吉シティホテル
【定員】先着30人 ☎☎倉吉商工会議所(☎22-2191)